

研究所敷地（長野市飯綱高原）のセミ類の変化

あれ!! ミンミンゼミが鳴いている。研究所事務室の外から、いないはずのミンミンゼミの鳴く声を聞いたのは、2010年の8月でした（みどりのこえ42号参照）。私が研究所に勤務するようになって10年目で初めて聞き、衝撃を受けました。標高約1000mの地にある研究所の敷地は、カラマツ林やミズナラの広葉樹林に被われた二次林ですが、自然豊かです。近年植林などはされず、苗木に幼虫がついてきたようなことはありません。従来、敷地で鳴くセミは5月中下旬頃から7月上旬頃に鳴くエゾハルゼミ、7月中下旬頃に鳴きだすエゾゼミ（コエゾゼミ含む）、ヒグラシが主な種類でした。ところが、近年アブラゼミやミンミンゼミをよく聞くようになり、これは、主に市街地や標高が低いところに生息するセミが、近年標高をあげて生息するようになったことを意味します。地球温暖化の影響も考えられます。

そこで、2012年から、研究所事務室から聞こえたセミの種類を可能な限り毎日カレンダーに記録することにしました。寒い日や天気が悪かったりすると鳴かないことや、土日祝日などは記録がとれないなど、正確な記録ではありませんが、およそのことがわかるかと思えます。5年間記録したので、聞き始めから聞き終りの期間をまとめました（表）。

特徴的な事項を列記すると、一番早いのはエゾハルゼミの5月13日（2015年・2016年）で、最も遅いのはミンミンゼミの9月25日（2015年）でした。ニイニイゼミは2012年、2013年、2015年に、ツクツクボウシは2015年に聞きました。ハルゼミが2014年6月17日の一日だけ聞きました。たまたま飛来したものかもしれません。ハルゼミは市街地から標高700m付近に生息し、研究所敷地内で聞いたのは初めてでした。（大塚孝一）

| 年 | エゾハルゼミ | エゾゼミ | ヒグラシ | アブラゼミ |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 2012 | 5/24～7/10 | 7/25～9/5 | 7/23～8/20 | 8/15～9/18 |
| 2013 | 5/20～7/16 | 7/16～9/9 | 7/23～8/9 | 8/9～9/13 |
| 2014 | 5/19～7/2 | 7/23～8/27 | 7/22～8/5 | 8/7～9/2 |
| 2015 | 5/13～7/2 | 7/21～9/15 | 7/23～8/6 | 8/5～9/16 |
| 2016 | 5/13～6/29 | 7/14～調査中 | 7/19～8/1 | 8/16～調査中 |

| 年 | ミンミンゼミ | ニイニイゼミ | ツクツクボウシ |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 2012 | 8/15～9/18 | 8/21～8/30 | 観測なし |
| 2013 | 8/11～9/18 | 7/28のみ | 観測なし |
| 2014 | 8/29～9/10 | 観測なし | 観測なし |
| 2015 | 8/18～9/25 | 7/25のみ | 8/19～8/27 |
| 2016 | 8/16～調査中 | 7/20～8/12 | 観測なし |

ハルゼミについては、2014年6月17日にのみ観測記録あり

